

2022年度 WG 自動車・自動車部品WG



2022年9月8日

自動車・自動車部品WG リーダー
西川 達哉
(本田技研工業(中国)投資有限公司)

1. テーマ

- 模倣自動車部品を使用した場合、お客様の安全に影響を与える可能性がある
⇒ 模倣部品の流通・販売を減らす取り組みを行う (No.1-4)
- 独立系（民族系）中国自動車企業と連携し、活動の幅を広げる
⇒ 知財活動実態を把握し、連携することで模倣品対策をより一層強化する (No.5)

【活動テーマ一覧】

No.	テーマ名	新規/継続	担当
1	広州モーターショーでの消費者啓発活動	継続	KYB ホンダ
2	SNSを活用した共同啓発活動 (対当局、対消費者（モーターショー以外）)	継続	マツダ AGC
3	税関データを活用した模倣対応活動 (当局訪問、摘発押収品の廃棄、オフライン/オンラインでの実態調査等)	継続	トヨタ
4	3.15消費者の日に合わせた当局と連携した模倣品啓発イベント開催	継続	日産
5	独立系（民族系）中国自動車企業との連携活動	継続	ホンダ

2. 9月までの活動内容と今後の課題・計画

No.	テーマ名	2022年度 9 月までの活動内容	今後の課題・計画
1	広州モーターショーでの消費者啓発活動	・主催者であるCCPITとの啓蒙活動協力の継続を確認 ・ブースデザイン、展示対応詳細、費用等の検討実施中	・参加団体・企業減少による費用負担増加への対応
2	SNSを活用した共同啓発活動	・昨年度に引き続き、Weiboを用いた情報発信を実施 ・発信計画に従って、IPG・当WG会合の様子、一部WGメンバーの個社知財保護啓発活動、模倣品摘発案件等の内容を発信	・発信コンテンツの内容を一層充実させた上でWeiboアカウントのさらなる拡散 ・広州MS啓発活動、各メンバーの模倣摘発案件、知財保護宣伝活動等の発信
3	税関データを活用した模倣対応活動	・2021年各社の税関データを整理済み	・9月 各社の希望訪問先税関を募集 ・10月 2021年税関データ分析結果に合わせ、訪問先税関を決定 ・11月 税関訪問（コロナの状況によりオンライン会合も検討）
4	3.15消費者の日に合わせて当局と連携した模倣品啓発イベント開催	・昨年度に開催できなかった要因を反省し、現地開催と予備案としてオンラインのイベントも計画 ・アンケートを行い希望開催都市（済南、鄭州）を選定 ・開催希望都市の当局に打診中	・11月までに当局と開催合意する ・展示物、配布資料などの準備 ・23年2月、3月頃の状況を見て、現地開催か、オンライン開催かを決定する
5	独立系（民族系）中国自動車企業との連携活動	・2022年9月16日迄にGEELY、FOTON、CHANGAN三社との交流会実施を推進中（GEELYはOK、残り二社9/2迄返答予定）	・9/2(金) 三社と日程確定 ・9/8(木) 詳細議題決定 ・9/16(金) 交流会実施予定

2. 9月までの活動内容

SNSを活用した共同啓発活動：

- ・今年度は平均月2回の情報発信を計画し、実行中。
- ・IPG 及び本WGの紹介、IPG会合の様子、メンバーの啓発活動、当局向け真贋判定セミナー、模倣摘発案件紹介 等

IPG・当WGの会合

ホンダと重慶市MSA 連携啓発活動

マツダ参加の税関向け 真贋判定セミナー

KYBの模倣品摘発 案件

Weiboアカウントのフォロー は▼▼からお願いします

